

プレスリリース  
2019年10月28日

静岡県立美術館  
Shizuoka Prefectural Museum of Art

# やなぎみわ展 神話機械

MIWA YANAGI : Myth Machines

2019年12月10日(火)～2020年2月24日(月・振休)



やなぎみわ(1967～)は、《エレベーター・ガール》で最初に注目を浴び、《マイ・グランドマザーズ》や《フェアリー・テール》といった一連の写真作品で世界的に評価を受けました。一方で、2010年から本格的に演劇プロジェクトを始め、現代美術のみならず演劇界でも忘れられないアートシーンを創出してきました。美術と舞台の両極を往還することで生まれるやなぎ作品は、スペクタクル性とドキュメンタリー性が交錯し、虚実を幾重にも越境していくものです。待望された約10年ぶりの本個展では、これまで以上にやなぎみわの汲み尽くせぬ創造の泉に迫ります。

## 開催概要

展覧会名	やなぎみわ展 神話機械 MIWA YANAGI: Myth Machines
会 期	2019年12月10日(火)～2020年2月24日(月・振休)
会 場	静岡県立美術館 (静岡市駿河区谷田 53-2)
開館時間	10:00～17:30 (展示室への入室は 17:00 まで)
休 館 日	毎週月曜日 *ただし、1月13日(月・祝)、2月24日(月・振休)は開館、1月14日(火)は休館 *年末年始休館：2019年12月29日(日)～2020年1月1日(水)
観 覧 料	一般 1,200円(1,000円) / 70歳以上 600円(500円) / 大学生以下無料 * ( ) 内は前売及び20名以上の団体料金。 * 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方と付添者1名は無料。 * 収蔵品展、ロダン館も併せてご覧いただけます。
主 催	静岡県立美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会、Daiichi-TV
協 賛	ライオン、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜、JA ふくしま未来、JA グループ福島
協 力	京都造形芸術大学、香川高等専門学校、群馬工業高等専門学校、福島県立福島工業高等学校、京都工芸繊維大学 ROBOCON 挑戦プロジェクト、一色事務所、堀内カラー、被災地からの発信・心の復興支援事業実行委員会
企画協力	一般社団法人 MIWA YANAGI OFFICE
チケット販売所	前売券は2019年12月9日(月)まで販売 [前売・当日券] チケットぴあ、セブンイレブン(Pコード共通:769-936)、ローソンチケット、ミニストップ(Lコード共通:45437)、セブンチケット、CNプレイガイド(ファミリーマート)、静岡県立美術館 [前売券のみ] 大和文庫、戸田書店(静岡本店・江尻台店)、谷島屋(パルシェ店・マークイズ静岡店)、吉見書店(竜南店)、大丸松坂屋友の会、静岡県庁本館1階売店、静岡市美術館ミュージアムショップ、グランシップ、JR 草薙駅前一部店舗
交通案内	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JR「草薙駅」県大・美術館口から静鉄バス「県立美術館行き」で約6分</li> <li>・JR「静岡駅」南口からタクシーで約20分、または北口から静鉄バスで約30分</li> <li>・JR「東静岡駅」南口からタクシーで約15分、または静鉄バスで約20分</li> <li>・静鉄「県立美術館前駅」から徒歩約15分、または静鉄バスで約3分</li> <li>・東名高速道路・静岡IC、清水ICから車で約25分、日本平久能山スマートICから車で約15分、新東名高速道路・新静岡ICから車で約25分</li> </ul>
託児サービス	託児サービス(無料)日曜日、祝日のみご利用いただけます。 時間:10:30～15:30/対象年齢:6カ月～小学校就学前 お預かりできる時間は2時間以内です。ご利用が集中した場合はお受けできないことがあります。
お問合せ	静岡県立美術館 TEL:054-263-5755(代) ウェブサイト: <a href="http://www.spmoa.shizuoka.shizuoka.jp">http://www.spmoa.shizuoka.shizuoka.jp</a>
担当者/連絡先	担当 植松篤(学芸課)、高柳智穂(総務課) TEL:054-263-5857 FAX:054-263-5742 (学芸課) TEL:054-263-5755 FAX:054-263-5767 (総務課) 静岡県立美術館 〒422-8002 静岡市駿河区谷田 53-2

## ■主な出品作品・広報用画像

〈女神と男神が桃の木の下で別れる〉※新作

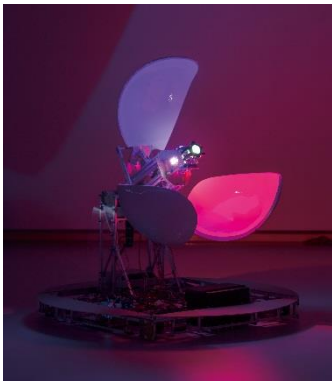
桃の老木を夜の桃園で撮影した、日本神話を題材とする大型の写真作品。これらをまとめて、日本で初めて発表する。神話では、死の国から戻る途中のイザナギが黄泉平坂で、桃の実を投げてイザナミを追い払った。桃をモチーフに人間の運命を見つめなおすシリーズである。



《女神と男神が桃の木の下で別れる：川中島》(部分)  
2016年 作家蔵

《神話機械》※新作

本作は、アートと機械が融合した4台マシンによる無人の演劇空間である。ここには『古事記』をはじめ、ギリシャ悲劇、シェイクスピア作品などが重層的に織り込まれている。モバイル・シアター・プロジェクトとして、作家と理工系大学、高等専門学校、高校、芸術系大学および開催館が協働して制作した。



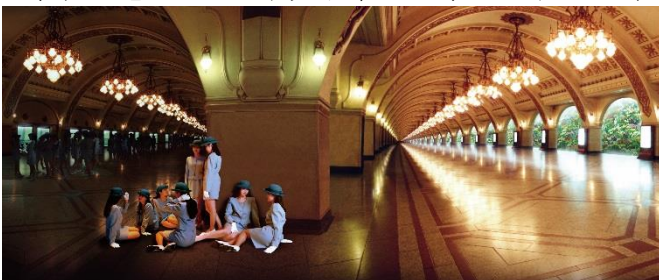
《神話機械・タレイア》2019年  
作家蔵 撮影：表恒匡



《神話機械・ムネーメー (投擲マシン)》2019年  
被災地からの発信・心の復興支援事業実行委員会蔵 撮影：表恒匡

・やなぎの代表的なシリーズを展示  
〈エレベーター・ガール〉シリーズ

かつて百貨店等の商業施設で見られたエレベーター・ガールをモチーフとした写真シリーズ。規格化された工業製品のようにも見えるやなぎ作品のエレベーター・ガールたちは、閉塞感のある空間に配置され、ある種のディストピア的な光景を生み出している。



《次の階を探して I》(部分) 1996年  
高松市美術館蔵

〈マイ・グランドマザーズ〉シリーズ

公募したモデルに「50年後の理想の自分」をイメージしてもらい、やなぎとの対話から浮かび上がった老女像をもとに、特殊メイクやCGを組み合わせることでビジュアル化したポートレート作品である。写真には、その対話に基づいたテキストが添えられている。



《My Grandmothers: YUKA》2000年 作家蔵

〈フェアリー・テール〉シリーズ

世界各地で語り継がれた寓話や説話、あるいはガルシア・マルケスの小説など、老女と少女が登場する物語をもとにした写真シリーズ。本作の中では、少女たちがマスクをかぶり老若の両方を演じている。物語の老女と少女の役柄を時に入れ替えながら密室劇を繰り広げている。



《グレーテル》2004年 作家蔵

---

やなぎみわ展 広報用画像データ・プレゼント用招待券申込書

宛先：静岡県立美術館（担当）学芸課 植松 宛

FAX：054-263-5742 E-mail：[webmasterspmoa@spmoa.shizuoka.shizuoka.jp](mailto:webmasterspmoa@spmoa.shizuoka.shizuoka.jp)

---

【画像ご使用に際してのお願い】

- \* 作品写真の使用は、本展のご紹介をいただける場合のみとさせていただきます。
- \* 写真のご利用は、1 申込について 1 回とし、使用後のデータは破棄してください。
- \* 画像のトリミング、文字のせはご遠慮ください。
- \* 基本情報確認のため、広報担当まで一度校正紙をお送りください。
- \* 掲載後、広報担当まで見本誌を 2 部ご送付くださいますようお願いいたします。
- \* お手数ですが、招待券プレゼントの受付、発送などは、貴編集部にてお願いいたします。原則として、掲載紙をご送付いただきました時に招待券をお送りいたします。

---

貴社名：

媒体名：

---

ご担当者名：

発行・放送予定日：

---

TEL：

発行部数：

---

FAX：

定価：

---

E-mail：

掲載予定コーナー名等：

---

- やなぎみわ《女神と男神が桃の木の下で別れる：川中島》（部分）2016 年 作家蔵
- やなぎみわ《神話機械・タレイア》2019 年 作家蔵 撮影：表恒匡
- やなぎみわ《神話機械・ムネーメー（投擲マシン）》2019 年  
被災地からの発信・心の復興支援事業実行委員会蔵 撮影：表恒匡
- やなぎみわ《次の階を探して I》（部分）1996 年 高松市美術館蔵
- やなぎみわ《My Grandmothers: YUKA》2000 年 作家蔵
- やなぎみわ《グレーテル》2004 年 作家蔵

■画像データ申込（ご希望のデータの番号に○をつけてください。）

5 組 10 名様分 希望します。

[チケット送付先]

ご住所：

〒 ー

<広報用画像に関する問い合わせ先>

静岡県立美術館

〒422-8002 静岡市駿河区谷田53-2

総務課：054-263-5755

広報担当（総務）高柳／展覧会担当（学芸）植松